

講座のご案内

【センター企画講座＜女性史＞】 『セピア色の写真から』朗読会

- 開催日時: 3/9(金)18:00～21:00(出入り自由)
- 場 所: 男女平等推進センターサロン
- 内 容: 高岡市にゆかりのある先輩女性をご紹介します。
高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」の特集『セピア色の写真から』を朗読します。
センターサロンでお茶を飲みながら週末のひとときを過ごしませんか。
- 対 象: どなたでも



【センター企画講座＜防災＞】 災害時に母子が安心して避難できる仕組みづくり

- 開催日時: 3/18(日)13:00～14:30
- 場 所: 男女平等推進センター会議室
- 講 師: 佐竹 直子
(NPO 法人多世代交流館になニーナ代表)
- 内 容: 地域防災における女性視点の重要性や女性防災リーダーの必要性などについて
- 対 象: テーマに関心のある方、どなたでも
- 定 員: 60 名
- 託 児: 満 1 歳以上就学前のお子さん
(無 料) ※託児の締め切り
平成 30 年3月1日(木)



高岡市男女平等推進 センターだより

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel. (0766) 20-1810 fax. (0766) 20-1815

【E-mail】gec@city.takaoka.lg.jp
【HP】<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

2018年

2月1日 発行



「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話『アリーテ姫の冒険』の主人公の名前です。「私の未来は私が創る」とアリーテはいいいます。

お知らせ

平成 30 年度男女平等推進センター活動登録団体

＜新規活動登録団体募集＞

センターを団体・グループの拠点として活用しませんか。
登録団体は、交流スペースや活動用ロッカーの利用が無料となるほか、他の団体・グループとの交流もしやすくなります。

登録要件

男女平等・共同参画の推進に関する活動をしている(しようとする)団体・グループで、以下の要件を満たしていること。

1. 目的・計画を持ち、センターと連携を図りながら事業を実施する。
2. 5人以上の構成員を有している。
3. 代表者が市内在住か、通勤・通学している。
4. 営利を目的とする団体ではない。

※登録は年度毎に更新が必要です。

＜平成 29 年度活動登録団体のみなさんへ 再登録のご案内＞

平成 29 年度の登録有効期限は、平成 30 年3月 31 日(土)までです。
引き続き登録を希望される場合は、書類に必要事項を記入の上、2月 28 日(水)までセンターに提出してください。
※提出期間が過ぎると、登録更新ができない場合がありますのでご注意ください。
詳しくは男女平等推進センターへお問い合わせください。

高岡市男女平等推進センターのご案内

高岡市男女平等推進センターは、男女平等・共同参画社会を実現するための拠点施設です。講座などの開催、男女平等・共同参画を進めるための市民活動やネットワークづくりの支援、図書の出し入れや情報誌の発行などによる情報提供、相談業務などを行っています。

※休館日
毎月第4月曜日、12月29日～翌年の1月3日

〒933-0023
富山県高岡市末広町1-7 (ウイング・ウイング高岡6階)
TEL (0766) 20-1810・FAX (0766) 20-1815

【E-mail】 gec@city.takaoka.lg.jp
【HP】 <http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

【相談室】

専任相談員が、DV や生き方、夫婦の問題等色々な相談を受けています。

＜面接相談は要予約＞

相談時間

〔月・火・水・金・土〕 9:30～16:30

〔木〕 14:00～20:00

＜お休み＞日曜・祝日・毎月第4月曜・年末年始

相談室専用電話
(0766) 20-1811



「ひとりひとりの居場所と出番を大切に」



男女平等推進センター活動登録団体
—話す・学ぶ・繋がる—
ふあん・ふあしい・café

代表 岸 靖久さん

昨今、多様性、ダイバーシティなどの言葉をよく耳にします。一方、多様性を認めようとする動きが進む中、従来からの男女、世代、その他の違いに対する隔たりは、未だ歴然と存在している感も受けます。

訪れる数多くの選択肢と多様性の波に昔ながらの人々は、自らの価値や経験がなくなる不安を感じ、従来の考え方にしがみつき自らの安心感を得たいと思ったりします。人はみな自らの安全・安心な場を求めますが、新しく違いを認めることは実は勇気がいることなのかもしれません。

様々な違いに向き合いながら、一人ひとりに安全・安心な場を創り、共同して生きていくには具体的にどうすればよいのか？私は、“ふあん・ふあしい・café”の活動の中で、一人ひとりが「そこにいいんだ」と感じることが出来る『居場所』と、一人ひとりに認められた『出番』を創っていくことが大切と思っています。

『居場所』については、話をする時に見た目や言葉、表面上の違いに対して正しい／間違いなどとすぐに決めつけず、判断を一旦保留し受け止めることが大切だと思います。

互いに違いがあることを認めて、さらに深く対話を重ね、背後にある考え方を共有し、共感が得られてはじめて共に進むための土台が作られるのだと思います。

『出番』については、例えば男女や世代の違い、それぞれの特徴、得意／不得意を認め役割を創り与える、そして大小関係なく全員の出番を尊敬する。力弱き者にもしっかり出番がある。ときには、いてくれること、存在すること自体が出番になるとも考えるのです。

「違っていてもいい、違いは魅力でありパワーの源だ」という想い、これからも「話す・学ぶ・繋がる」という対話を通じた活動で、一人ひとりの居場所と出番を創り、みなさんが安全・安心とそして成長を感じる場作りに対してお手伝いしていきたいと思っています。

